

【活用にあたって】

次の各新聞記事を読んで、答えを確認しましょう。

大人の人に使っているか聞くのも楽しいですよ。

現代 尾張弁 講座

だましかつとる

■意味

「黙っている」の意。ほぼ尾張地方で特有の言葉。

■成り立ち

岐阜大の山田敏弘教授（日本語学）によると「成り立ち自体は単純」で、「黙る」に接尾辞の「しかる」が付いた形。同様の接尾辞は「うせましかる」（つらやましい）にも見られるが、共通語にはない表現という。「だましかる」には他に「内緒にしておく」との意味もあるといい、山田さんは「共通語でも『黙っている』と言えば『余計なこと』をしゃべるな」との意味になるから同じ発想だろう」と推し量る。

■関連語 内緒で集めたお金である「へそくり」の意味で、岩倉などでは「まつばり」という言葉がある。

■使用例

（夫）宝くじで五百万円当たったわ！
（妻）すごいがね！でも、近所の人にはだましかつとらなあかんよ。

■勝手にレア度

○○○○●

現代 尾張弁 講座

ちようすく

■意味

尾張北部にみられるが、主として岐阜県中西部に分布する。「調子づく」「いばる」

■成り立ち

岐阜大の山田敏弘教授（日本語学）によると、「調子づく」が変化した言葉。そうすれば原義は「調子に乗る」「得意になる」と、必ずしも悪い意味ではないが、「この地方ではもっぱら悪口として使われる」という。

「出るくいは打たれる」という気風が見られる美濃地方らしい言葉といえる」と、山田さん。「江戸時代、美濃地方は尾張藩に支配され、目立つことはご法度。目立てば『ちようすいとる』と戒められた。悲しい歴史が生んだ言葉」とも話している。

■関連語 「調子こく」。「りきむ／できむ」も「威張る」の意味で使われる。

■使用例

（夫）今日、息子に勉強、教えたったわ。
（妻）何ちようすいとるの。小学一年生の算数なら私でも分かるわ。

■勝手にレア度

○○○○●

ケッタ

■意味

名古屋市で使われたのが発端だが、同市では現在廃れ、尾張北部から美濃南部などでわずかに残る。「自転車」。

■成り立ち

岐阜大の山田敏弘教授（日本語学）によると、「蹴る」に「〜たくる」が付いた「蹴りたくる」が変化したものとされる。「たくる」は「手繰る」で荒っぽい様を表す意味に変化した。

かつて男子小学生から中学生が乗るスポーツタイプの自転車を指したのは、この荒っぽいさから。変速機付きで、ウインカーまでついた自転車は「ケッタマシン」とも呼ばれ、「垂ぜんの的だった。『ママケッタ』がないのも当然のこと」（山田さん）。

■関連語 関西系の「チャリ」に名古屋は席巻されてしまった。

■使用例

（母）はよ行かな、塾遅れるよ。

（子）ケッタマシンでびゅーと行くわ。

■勝手にレア度

○○○○●

むりこむしょー

■意味

無理やり。強引。文献上では尾張地方でも一宮にのみあるレアな言葉。

■成り立ち

「無理」と「無性」が組み合わせられてできた言葉とみられ、無性より無理の意味の方が強いと考えられる。岐阜大の山田敏弘教授（日本語学）は「『無性』を、頭韻を踏んで『無理』に添えた可能性がある」と分析する。

このように「無理」に似た音を重ねる方法は、全国でも「むりやり」「むりくり」など多くみられる。後半部分の「やり」「くり」には意味はなく、語調を整え、強めて言うために添えられた言葉。山田さんは「尾張北部の人の遊び心が垣間見える一語」と語る。

■関連語 稲沢では「むりむしょー」、十四山では「むりかむしょー」など。

■使用例

（先輩）ゴルフはそんなむりこむしょーに打ってもまっすぐ飛ばんて。

（後輩）あー…。またOBですわ…。

■勝手にレア度

●●●●●